

(二) 各幹部は自己の率より組合員を今回の要求の主旨を話し其結果を望み其結果の如何を試す為め明日残業を打捨て退場する事、但結束強固ならば先年川崎を苦しめたる全部急業状態に出でる事。

(三) 工場長の帰場時間を確める事、然らざる時は代理者に於て解決する事。如斯に既に宣傳じうを用意し其執えんとする手段等と思へば彼等の意思那边にあるやを窺はる。

二十日早朝出勤職工に対し左記の宣傳じうを配布せり。

「絶叫スル私達ノ聲」 (一写)

許エテ諸兄ノ同情ヲ仰グ

諸兄ニ御迷惑ヲカケテ申訳ガナイ、私達ハ既往四ヶ年ニ亘ル其間会社ノ不況ト言フ方策ニ依リ悲惨ナル生活ヲ續ケテ来タガ四年前、独身者モ家ヲ爲シ妻子ヲ扶養シテ行ハルトナツタ。

然シ會社ハ積累ニモ依然トシテ其方法ヲ一貫シテ居ルガ社會ハ之ヲ許サナイ私達ノ生

活費トスベキ給料カ之ニ伴ハナイカラ昇給ヲ嘆願シ私達時代ノ要求スル叫ビタル

爾今ノ生殺與棄ハ實ニ諸兄ノ御同情ノ如何ニ依ツテ左右セラル、ノデアル。

日本労働総同盟
因島労働組合
電氣支部

電氣工場従業員

宣敷諸兄ノ御同情ニ許フ

同日鐵工小林只一氏、電氣工相原保市氏、電氣工吉田清造氏、旋盤工有田静雄氏等會社側主事兼事務部長竹内十一郎氏、庶務課長山崎政男氏と會見す。

代表と稱する者 工場長は何時も来られるか、一般職工が待つて居りますから面々に来りました。

竹内氏 今日尾道より午後二時十七分の汽車で着かれるも、うだから。

代表と稱する者 何とか来ぬも、うしよ、早く回答してもらはんと會社の損はずからね。

竹内氏 工場も非常な困っている時だからね。経営して行く者の立場もなつて考へ

てもらわんと。

山崎氏 君達の言ふ事は嘆願なら嘆願の称もせよ、いかん、一回の工場長の回答も